

熊本地震（本震）から1か月過ぎました。

しかし、地震活動は今でも活発で最近でも震度3以上の余震が毎日のように発生し、10000人を超える人々が避難生活を余儀なくされています。

この間、下水道の被害の関係では全国の大都市や九州・山口地区の一般市町の支援により、管きよの概略点検が終了し、引き続き詳細点検が精力的に進められ、復旧工事に向け作業が着実に進められています。下水道機構も「熊本地震下水道現地支援本部」に交替で職員を派遣しており、現在は4人目の研究第1部田邊副部長が派遣され、1日も早い復旧に向け支援業務の調整を行っています。

被災者の皆様の1日も早い暮らしの再建、日常生活への復帰と、支援に携わる皆様のご健康をお祈り申し上げます。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第234号をお届けします。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・5月の技術サロンは、横浜市環境創造局下水道管路部管路保全課長 脇本 景氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は、5/17(水)に建設技術審査証明事業（下水道技術）証明書交付式を開催します

■Tea Break

・いつまで運転できるか（研究第二部 Y.I さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

・本日のゆいまーるは、お休みします m()m

■国からの情報

・5/13付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション （最新の話題です）

。○。

●5月の技術サロンは、横浜市環境創造局下水道管路部管路保全課長 脇本 景氏をお迎えして開催しました。

今回のテーマは「横浜市における下水道管きよのストックマネジメント」でした。脇本氏は昭和58年に横浜市下水道局へ入庁され、平成11年には日本下水道事業団へ出向、その後、平成14年に横浜市下水道局技術開発担当係長、平成23年に環境創造局管路整備課長を経て、平成26年に現職の管路保全課長に着任されました。

講演内容は、サロンの冒頭で、「横浜からはじめます-下水道管の予防保全型維持管理-」と題したプロモーションビデオをご紹介いただくとともに、横浜市の下水道管きよのストック・アセットマネジメントに関して、管きよの劣化、破損事例等を交えながら、維持管理・再整備の方向性やその管理手法、また、維持管理指針の策定による劣化予測や点検調査手法などについてわかりやすく説明していただきました。昨年度の下水道法改正等による維持修繕基準の創設やストックマネジメント実施に関するガイドラインの制定等もあり、聴講者の関心が高いテーマであったため、既設管の劣化予測やストックマネジメント支援制度への対応などについて多くの質問があり、盛況なサロンとなりました。

なお、本サロンでご紹介したプロモーションビデオは、今後一般向けに動画配信を予定されているとのことです。

さて、次回のサロンは、6月9日（木）17:00から18:00での開催となります。ゲストは地方共同法人 日本下水道事業団情報システム室長 富樫 俊文氏をお迎えして、「日本下水道事業団におけるICT（情報通信技術）の活用について～BIM/CIM, IoTなど～（仮）」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●平成28年5月17日（火） 9:30～ 10分程度

行 事：平成28年度建設技術審査証明事業（下水道技術）証明書交付式

場 所：機構7階 理事長室

分 類： 更生・修繕技術

技術区分： 変更継続技術（基準達成型）

技術名称： SWライナー（下水道管きよの更生工法－製管工法－）

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●いつまで運転できるか（研究第二部 Y.I さんからの投稿です）

ある程度の年齢になると、いつまで自動車の運転をしようか考える人も多いと思う。私も同じである。時々、高齢者の自動車事故のニュースを耳にする。なぜと思うような事故もある。若いときから、ヒヤリとすることは何度かあり、年取ると危ないなど感じている。都内に住んでおり、自動車はなくても生活できるが、自動車は便利であり、手放せない。そこで、最近は自動運転技術の開発、普及を望んでいる。自動運転技術の開発が進めば、高齢者が運転しても安全性は非常に高まるのではと期待している。

昨年、車を買替えたが、安全運転支援システムが装備されている。衝突防止機能のほか、前の車への追従機能や車線維持機能など安全に関する機能がついており、速度やハンドルが自動で動くようになっている。気を付けて運転するが、何かの時は少しは安全性が増すのではと思う、いや思いたいかな。今後、高齢者でもより安心して乗れる自動運転技術のさらなる開発を望んでいる。その開発の進捗が、私がいつまで運転するかということと関係していると勝手に思っている。

。〇〇。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です）

。〇〇。

●本日のゆいまーるは、お休みします m()m

*/**/*
皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.5.13 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

先週は、ゴールデンウィークのため、インフォメーションの発信はお休みさせていただきました。

さて、平成 29 年度予算ですが、いよいよシーズン突入です。

これまで部内で議論してきておりますが、11 日（水）には省内会計課とのフリーディスカッションの第 1 回があり、今後新規制度等について詰めていくこととなります。

皆様のお知恵もいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。なお、平成 28 年度補正予算は、熊本地震の復旧に向けたものとして、国会審議に入っています。

<熊本地震情報>

○下水道施設の被害状況と対応について（平成 28 年 5 月 10 日 17:00 時点）

<http://www.mlit.go.jp/common/001131092.pdf>

○熊本地震における水管理・国土保全局の対応について

<http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/kumamotojishin.html>

○熊本県熊本地方を震源とする地震について

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_160416.html

○熊本地震における国総研の活動状況

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kumamotojishin2016.html>

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○下水道展ガイドブックが電子版にリニューアル（下水道協会）

○平成 28 年度 B-DASH プロジェクトの公募を開始（第 2 弾）（下水道企画課）

○下水道革新的技術の実証テーマ等募集について（下水道企画課）

=====

○下水道展ガイドブックが電子版にリニューアル（下水道協会）

今年から、下水道展のガイドブックはインターネットを利用した「電子版」に生まれ変わりました。

パソコンはもちろんスマートフォンなど、インターネットに接続できればいつでも、

どこでも、だれでも、事前に出展情報を見ることができます。

下水道展が終了しても電子版は維持しますので、通年にご利用いただくことができます。

以下の URL から、ぜひご参照下さい。

<https://www.guide-gesuidouten.jp/>

「下水道展'16名古屋」開催概要

名称：日本発！暮らしを支える底力「下水道展'16名古屋」

会期：2015年7月26日（火）～29日（金）

会場：ポートメッセなごや 第2・第3展示館（名古屋市港区金城ふ頭2-2）

事前来場申込はウェブサイトから

<http://www.gesuidouten.jp>

- 平成28年度 B-DASHプロジェクトの公募を開始（第2弾）（下水道企画課）
～老朽化が進む下水管きよの効率的な点検・調査技術などを国が技術実証します～
http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000301.html

【概要】

国土交通省は、新技術による下水道事業の効率化を促進するため、B-DASHプロジェクトとして以下の2テーマに関する技術の調査事業を、5月12日から6月13日まで公募します。

①下水管きよの腐食点検・調査技術

②中小規模処理場を対象とした下水汚泥の高濃度メタン発酵技術

今回の公募は、実規模実証の前段階として、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を行う「予備調査」として公募します。

【公募期間】5月12日（木）から6月13日（月）まで

詳細は国土交通省ホームページをご確認ください。

- 下水道革新的技術の実証テーマ等募集について（下水道企画課）

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000445.html

【概要】

平成29年度以降の、下水道革新的技術の開発・普及を促進するため、実証技術等のテーマ提案を募集します。

今回の公募では、従来のシーズ調査に加えて中長期的な技術開発テーマを併せて募集し、政策的な視点を踏まえて、下水道技術ビジョンやロードマップに反映するとともに、今後の実証テーマ等決定の参考とします。

具体的には、技術の熟度に応じて以下の3段階（①～③）の公募分類として、技術テーマを募集します。

◇公募①：「H29_B-DASH 実規模実証テーマ」

- ・直ちに実規模で実証できる段階にある技術
 - ◇公募②：「H29_B-DASH 予備調査テーマ」
 - ・実規模実証の前段階として、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を行う技術
 - ◇公募③：「中長期的な技術開発テーマ」
 - ・下水道技術ビジョンのロードマップに掲げられた技術開発項目のうち、概ね5～6年以内にB-DASH 予備調査や他の研究開発事業（GAIA※、NEDO 事業等）により
応用研究、実用化研究の段階に到達することが見込まれる要素技術等が含まれるもの。
- ※下水道技術研究開発公募（GAIA プロジェクト：Gesuido Academic Incubation to Advanced Project）

【公募期間】5月12日（木）から6月10日（金）まで

詳細は国土交通省ホームページをご確認ください。

=====

【参考情報】

- ◆下水道資源 汚泥は「宝の山」〈5/10 毎日新聞〉
<http://mainichi.jp/articles/20160509/org/00m/010/050000c>
- ◆防災拠点の校舎が完成、臼杵市の福良ヶ丘小 マンホールトイレや備蓄倉庫 [大分県] 〈5/11 西日本新聞〉
<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/oita/article/244383>
- ◆震災時、家庭のトイレ対策を 県が特化マニュアル 〈5/9 東京新聞〉
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/saitama/list/201605/CK2016050902000187.html>
- ◆ご当地マンホールカード 全国で配布開始 /高知 〈5/8 毎日新聞〉
<http://mainichi.jp/articles/20160508/dtl/k39/010/332000c>
- ◆下水道維持費、33年度に1.5倍 使用料引き上げも 〈5/7 東京新聞〉
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/politics/list/201605/CK2016050702000260.html>
- ◆「配管内洗浄ロボ」開発へ 福島第1原発・廃炉作業応用も視野 〈5/6 福島民友〉
<http://www.minyu-net.com/news/news/FM20160506-071403.php>
- ◆神戸版マンホール、コースターに 下水道豆知識も 〈5/2 神戸新聞 NEXT〉
<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201605/0009044793.shtml>
- ◆幻のサクラマス生息数増！？ 体長60センチ超の大物も 栃木県が本格調査開始 〈4/7 産経新聞〉
<http://www.sankei.com/region/news/160407/rgn1604070056-n1.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
